

小脳の高次脳機能

・1990年代から小脳は運動機能だけでなく、認知機能にも関与していることが報告されている。

目的：小脳の萎縮を呈する遺伝性疾患「脊髄小脳変性症」タイプ3（SCA3）における高次脳機能障害を明らかにする。

方法：SCA3群15例 年齢,性別,教育年数,知的機能に差のない
対照群15例に記憶検査（記銘力検査,再認課題）,前頭葉機能検査（語想起：動物名,「か」で始まる言葉）,ワーキングメモリー（逆唱）
注意機能検査(Trail Making Test)を施行した。

結果：SCA3群において近時記憶（記銘力）,ワーキングメモリー,語想起の有意な低下。再認課題,即時記憶,注意機能には,両群間で有意差が認められなかった。

小脳の高次脳機能

考察

記憶の3過程：記銘（記憶情報の入力）、貯蔵（記憶の維持）、想起（記憶の再生）

SCA3群は、再認（過去に認識した事柄の判断）は良好→記銘、貯蔵は良好

SCA3群の高次脳機能障害

記銘力障害：近時記憶貯蔵庫からの想起障害

ワーキングメモリー障害：短期記憶貯蔵庫からの想起障害

語想起障害：長期記憶（意味記憶）貯蔵庫からの想起障害

結論:小脳は、貯蔵時間の異なる三種の記憶貯蔵庫からの記憶情報の想起に関与している可能性が示唆された。